

令和4年度MaOIプロジェクトの進捗状況

R4年度 MaOI機構の推進体制

一般財団法人マリンオープンイノベーション機構機構

松永 是
(JAMSTEC顧問)

理事長

評議員会

○ 7名

理事会

○ 10名

監事

○ 2名

専務理事（兼事務局長）

渡邊 眞一郎（常勤）

統括プロデューサー

橋本 正洋
(法政大学教授、
東工大名誉教授)

特任コーディネーター

矢澤 一良
(早稲田大学
ナノ・ライフ創新
研究機構部門長)

研究所長

五條堀 孝
(KAUST特別荣誉教授)

副研究所長

峯田 克彦（非常勤）

上席主幹研究員

齋藤 禎一（常勤）

主任研究員

研究員

テクニカルスタッフ

事務スタッフ

システム
アーキテクト

事務局長

コーディネーター

コーディネート
プロデューサー

加戸 久生（常勤）

コーディネーター

常勤 2 名、非常勤 4 名

事業部

アシスタント
プロデューサー

稲垣 詔喬（県派遣）

スタッフ

沓間 明日香（常勤）

つなぐ会事務局

総括

長谷川 卓
(常勤)

スタッフ

非常勤 1 名

総務部

部長

奥山 昌宏
(常勤)

スタッフ

非常勤 1 名

MaOIプロジェクト 事業実績（時系列表）

年度	時期	内容
令和4年度	5月	<ul style="list-style-type: none"> ○ JAMSTECとの連携・協力に関する基本協定締結 ○ 海洋微生物ライブラリーを活用した事業化成果であるサワーエール販売開始 ○ 駿河丸見学会
	6月	○ MaOIセミナー開催（ハイブリッド形式 6月、10月、11月）
	7月	<ul style="list-style-type: none"> ○ シーズ創出研究第4期 採択 ○ 事業化促進助成第4期 採択 ○ MaOIサロン開催（MaOI-PARC）（7月、8月、12月予定） ○ ごみ拾いSNS「ピリカ」の静岡県版ウェブサイト運用開始 ○ 第1回ブルーエコノミー研究会 ○ チリメンモンスター観覧会の開催 ○ 「静岡県美しく豊かな海保全基金」への寄附金寄贈と感謝状贈呈式（(株)いであ）
	8月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 海洋技術開発促進助成第3期 採択 ○ シーズ創出研究第4期 1件追加採択 ○ MaOI-FS(フィージビリティスタディ) 第2期採択 ○ 日本進化学会にてサクラエビ、シラス等のゲノム解析に関する共同研究成果を発表
	9月	<ul style="list-style-type: none"> ○ フォトコンテスト「静岡の夏の海」受賞者発表 ○ 海洋微生物ライブラリーを活用した事業化成果である大豆グルト販売開始 ○ 第2回ブルーエコノミー研究会 ○ スルガバイシミュレータ研究支援公募開始
	10月	<ul style="list-style-type: none"> ○ バイオジャパン出展（横浜市） ○ つなぐ会交流会
	11月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 成果発表会 ○ 「産業振興フェアinいわた」出展 ○ 「BlueTechWeek」参加
	12月以降	<ul style="list-style-type: none"> ○ 世界で最も美しい湾クラブ総会（12月） ○ 海の森づくり体験教室（12月）

戦略Ⅰ 「知」の集積とオープンイノベーションの拠点形成

MaOIフォーラムセミナー

- 第1回：水産業におけるイノベーション【R4.6.28】
- 第2回：フィッシュプロテインのパワー【R4.10.5】
- 第3回：成果発表会【R4.11.30】 予定
- 第4回：未定【R5.2～3月】 予定

MaOIサロン

- 第1回：生殖幹細胞で死んだ魚の子孫を増やす【R4.7.20】
 - 第2回：Charlotte Hauser氏講演（KAUST教授）【R4.8.19】
- ※年度内に全5回程度を開催予定



（左）MaOIサロンの様子



（右）MaOIフォーラムセミナーの様子

MaOI機構・東海大学

連携・協力に関する基本協定

署名者：松永MaOI機構理事長、山田東海大学長

【R4.4.1】

静岡県・国立研究開発法人海洋研究開発機構(JAMSTEC)

「マリンオープンイノベーションプロジェクト」

事業における連携・協力に関する基本協定

署名者：川勝静岡県知事、大和JAMSTEC理事長

【R4.5.13】



静岡県・JAMSTECとの連携協力協定の様子

戦略Ⅰ 「知」の集積とオープンイノベーションの拠点形成

ブルーエコノミー研究会

MaOIプロジェクトの地域経済への波及効果について、定量的指標による経済・社会へのインパクト評価を試み、将来的なプロジェクトの発展に活かすことを目的として、研究会を実施。



(上) 第1回ブルーテック研究会の様子(第2回以降、ブルーエコノミー研究会へ改称)

- ▶ 静岡市の海洋関連産業の生産額(H27年)は4,905億3千万円、付加価値額は2,218億2千万円
- ▶ 静岡市の生産額と付加価値額に占める割合は8.4%、7.0%
- ▶ 静岡市の海洋関連産業の経済波及効果は6,413億円であり、海洋関連産業の生産額に対する倍率(乗数)の大きさは1.31

(第2回研究会における、青木特任研究員の発表から抜粋)



(下) 第2回ブルーエコノミー研究会の様子



・OECD,EU,TMA(2022)等により、世界におけるブルーエコノミーの形成状況を分析

・静岡県及び静岡市の産業関連表を用いて、評価変数等を検討

戦略Ⅱ オープンデータ・オープンサイエンスの推進

海洋微生物ライブラリー

食品分野の企業ニーズが高い乳酸菌や酵母を784株を公開・分譲受付中。
MaOIプロジェクトの事業化成果として、今年度、新たに2商品が販売開始。

1 深海魚由来の乳酸菌とシラス由来の酵母を活用したソーワール

製品名	Deep sea Sour
製品開発企業	RePuBrew合同会社(沼津市)
製品概要	深海魚由来の乳酸菌とシラス由来の酵母とを組み合わせ使用した、酸味が特徴的なクラフトビール
販売状況	500ml缶にて店頭販売(令和4年5月29日販売開始)
価格	920円(税込・500ml)



2 浜名湖の海藻由来の乳酸菌を活用した大豆グルト

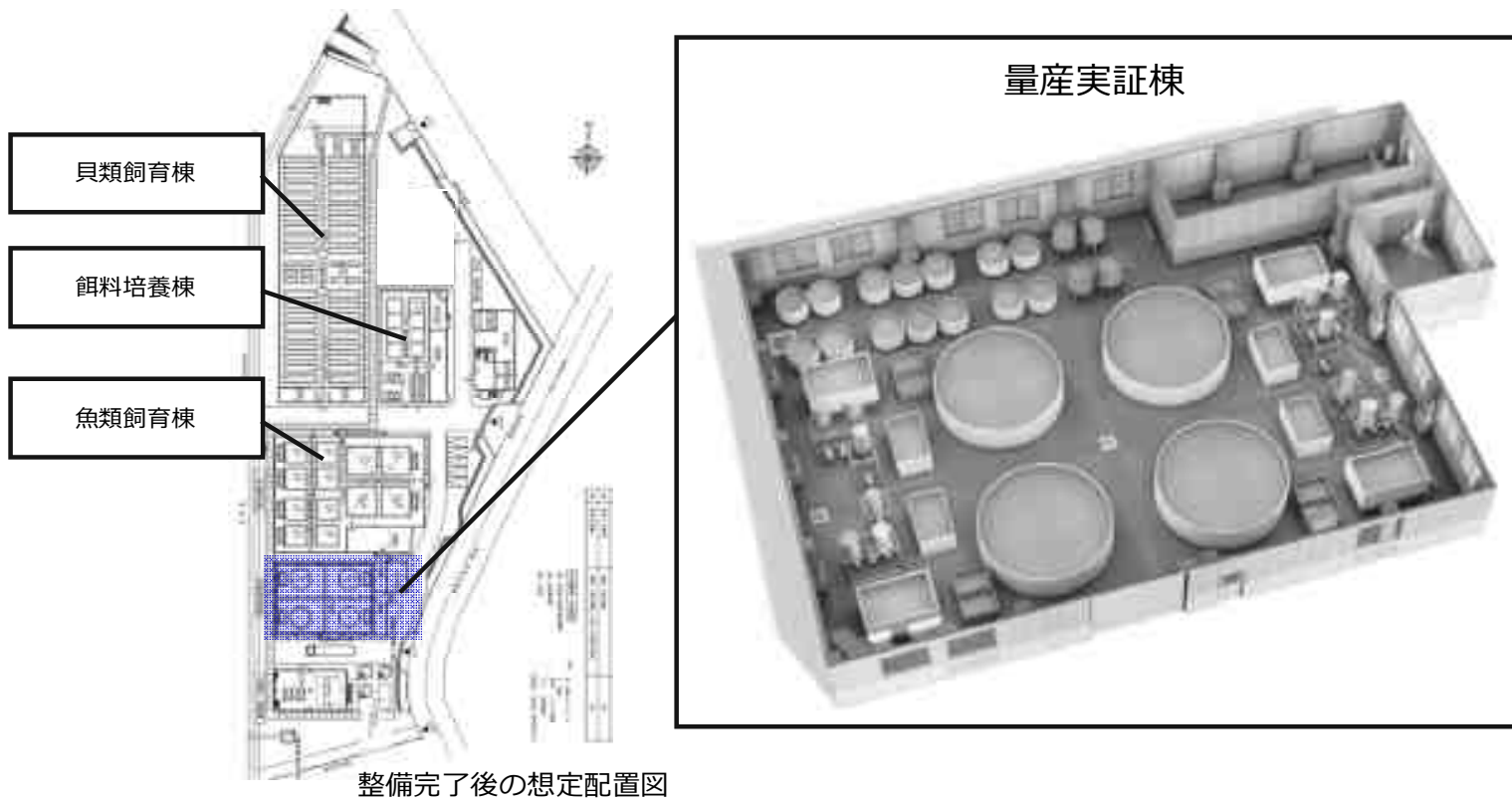
製品名	浜名湖丸ごと発酵大豆グルト
製品開発企業	食品品質サポート(浜松市)
製品概要	(株)須部商店(浜松市)が製造する、国内産大豆を100%使用した「丸ごと飲む大豆」を、GABAと抗酸化成分を増やす力がある乳酸菌(浜名湖の海藻より分離)で発酵させたヨーグルト
販売状況	松田食品 松香堂本店、宅配、ECサイトで販売(令和4年9月24日販売開始)
価格	324円(税込・60g×2個入り)



戦略Ⅲ 拠点・プラットフォームの整備と活用

温水利用研究センター沼津分場

水産資源増大のための種苗生産及び量産実証の研究拠点。
量産実証施設を先行して整備を開始し、R4年度に完成予定。



整備完了後の想定配置図

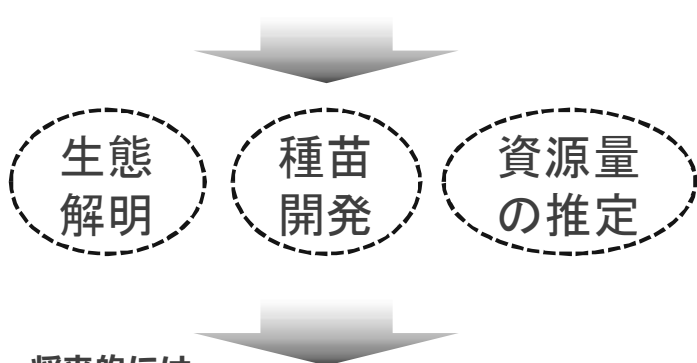
戦略Ⅳ 研究開発領域の重点化

BISHOP研究

MaOI機構が主体となり、大学や研究機関、企業等と共同研究を実施。研究分担や企業等の研究も支援。

MaOI機構と県水産・海洋技術研究所が世界で初めて、本県の主要水産資源であるサクラエビ、シラス、タカアシガニ、キンメダイのゲノム解読に成功

ゲノム情報、環境DNA(eDNA)技術



将来的には
ゲノム情報を活用した新しい
資源管理・養殖の実現に期待



日本進化学会沼津大会（令和4年8月5日）で発表
-静岡新聞（令和4年8月5日、6日）-